

石巻南浜津波復興祈念公園における市民の伝承活動



宮城県 石巻市

がんばろう！石巻の会、公益社団法人みらいサポート石巻
特定非営利活動法人こころの森 / 宮城県、石巻市

手づくり郷土賞
について

グランプリ
2017

講評

大賞部門

一般部門

資料編

1 社会資本の概要

平成 23 年 3 月 11 日に襲来した大津波により多くの営みが一瞬にして奪われた石巻南浜地区では、犠牲になられた尊い命への追悼と鎮魂、大震災の脅威や教訓の伝承ならびに復興の力強い発信を目的とし、国・県・市が連携し石巻南浜津波復興祈念公園の整備を進めています。

公園のコンセプトは、土地の履歴を重ねて表現す



石巻南浜津波復興祈念公園 イメージパース

るというもので、かつての南浜地区にあった、北上川河口部の砂浜や湿地、戦後急速に発展した市街地や住宅地、そして生活の記憶、震災、そしてこれからの未来という時間を重ねています。

復興祈念公園は平成 29 年 3 月に着工し、完成は平成 32 年度を目指しています。



復興祈念公園内にある市民活動拠点

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

「がんばろう！石巻の会」「公益社団法人みらいサポート石巻」「特定非営利活動法人こころの森」の3団体は、東日本大震災の被災地である石巻市で、地域住民が中心となり自ら発足した団体で、震災直後から追悼行事や震災伝承活動、公園に植栽する苗木の育成等の活動を実施してきました。公園整備予定地内の市民活動拠点では、3団体が中心的な役割

を果たし、他の関係者との連携・協力のもと公園の基本理念に沿った活動・行事等を実施しています。

また、3団体は石巻市が事務局の「参加型維持管理運営」検討協議会の主要メンバーでもあり、公園完成後の活動や市民協働等も想定し、同協議会や地域の関係団体、行政等と意見交換を行いながら活動をしています。



【みらいサポート石巻】震災学習プログラム「語り部と歩く 3.11」



【がんばろう！石巻の会】を中心とした実行委員会開催の追悼行事



【こころの森】が育成した苗木を2300本植樹した第1回植樹祭

3 活動の成果や波及効果等

「がんばろう！石巻」看板には、これまで6万人以上の方が訪れており、多くの人々を励まし続けています。毎年3月11日には、追悼行事「東日本大震災追悼3.11のつどい」を開催しています。南浜つなぐ館のICTを活用した被災の実情の可視化やVR等の展示は、メディア・専門家等からも高い関心が寄せられています。

3団体が各々の得意分野を生かして連携することにより、将来の復興祈念公園運営に不可欠な市民活動を継続する素地を育てています。



「南浜つなぐ館」震災伝承に関する展示



地元中学生との二代目看板の制作



市民活動3団体による視察受入

所在地
宮城県石巻市 石巻南浜津波復興祈念公園

活動主体及び連絡先
がんばろう！石巻の会
公益社団法人みらいサポート石巻
特定非営利活動法人こころの森
(連絡先 みらいサポート石巻 0225-98-3691)

対象となる社会資本
石巻南浜津波復興祈念公園
※管理者：宮城県、石巻市、東北国営公園事務所



喜びの声



受賞者

公益社団法人みらいサポート石巻
専務理事 中川 政治 (写真:右)

コメント

「がんばろう！石巻」看板からスタートし、多くの連携を生んできた伝承活動を手づくり郷土賞に選定いただいたこと、感謝申し上げます。今後整備される石巻南浜津波復興祈念公園と共に、全国の方々へ地域の思いを届けられるよう、今後も努力を重ねてまいります。

活動内容

追悼行事、震災伝承活動、杜づくりの活動 など

活動の経緯

- 平成 23 年 被災市民の有志で3団体の各々の活動を開始
- 平成 28 年 復興祈念公園「参加型維持管理運営」検討協議会参加、市民活動拠点での活動を開始
- 平成 29 年 第1回植樹祭開催

手づくり郷土賞
について

グランプリ
2017

講評

大賞部門

一般部門

資料編